

縁結び課

1 三木創生の推進

人口減少に歯止めをかけ、まちの将来の展望を拓くため、令和4年度は、「第2期三木市創生計画 人口ビジョン・総合戦略」について、第1期に引き続き推進及び検証を行った。

(1) 三木市創生計画策定検証委員会の開催

産・官・学・金・労・言・士（産業団体・官公庁・大学・金融機関・労働団体・マスメディア・士業）の各界と市民が委員として参画する三木市創生計画策定検証委員会を開催し、三木創生で取り組む施策による効果を検証した。委員会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、対面式とオンラインによるハイブリッド型で開催した。また、これまでの委員会において各委員からいただいた意見を参考に、令和4年度から新たに進めている地方創生に向けた取組を共有し、意見交換を行った。

ア 第1回三木市創生計画策定検証委員会

- (ア) 開催日 令和4年8月30日
- (イ) 内容 第2期三木市創生計画の検証等

イ 第2回三木市創生計画策定検証委員会

- (ア) 開催日 令和5年2月21日
- (イ) 内容 第2期三木市創生計画の検証及び第4版への改定等

(2) 第2期創生計画の改定

国及び県の新たな動きや新型コロナウイルス感染症による社会の変化等を踏まえ、市として創生計画を進めるなかで生じた一部事業の方向性や目標値の変更を行い、「三木市創生計画 人口ビジョン・総合戦略」を改定した。

ア 改定日 令和5年3月31日

イ 計画の期間 令和2年度～令和6年度

(3) 連携による事業

地方創生の推進に向け、地域資源を活用した様々な取組を加速するため、官公庁、民間事業者、大学等と連携し、相互のノウハウ、ネットワークなどを活用することで市の活性化に取り組んだ。

ア 大和ハウス工業株式会社

令和2年2月に連携協定を締結し、三木市の郊外型戸建住宅団地が抱える高齢化や、空き家などの様々な課題を解決する先行モデルとして、先進技術などを活用し、将来にわたりまちの活力を保ち続ける仕組みを導入した「多世代の住民が快適で永続的に循環しながら住み続けられるまち」づくり（青山7丁目団地再耕プロジェクト）の実現をめざす。

(ア) 青山7丁目整備イメージ案の実現に向けた調整

- a 基本構想策定に係るサウンディング調査を行った。
- b サウンディング調査を受け、公募に向けた基本構想を策定し、プロポーザル公募に向けた準備を開始した。

(イ) 造成工事

- a 交流エリア内福祉系施設整備に係る先行造成工事を完了した。
- b 残エリアに係る許認可調整作業を開始した。

(ウ) 土地の引き渡し

- a 交流エリア内福祉系施設整備に係る先行引き渡しを完了した。
- b 残エリアに係る引き渡しに向けた調整を開始した。

イ 株式会社官民連携事業研究所

令和元年9月に連携協定を締結し、三木市の地方創生に係る公民連携事業を実施した。

(ア) 株式会社トラストバンク

- a 期間 令和4年4月～令和5年3月末
- b 内容 テレワークや働き方改革に対応するため、株式会社トラストバンクが提供する、LGWAN環境で使用できるチャットシステム「LoGoチャット」を無償で試

験導入した。

(イ) 大塚食品株式会社

- a 開催日 令和4年11月22日
- b 内容 近畿大学と連携し、市内小学校において大豆ミートを通じた「環境問題」、「食糧問題」等を考える環境・食育学習に係る授業を実施した。

(ウ) ビジョン株式会社

- a 時期 令和4年8月
- b 内容 赤ちゃんのための防災に係る寄附として、コンパクトベッド及び災害用授乳カップを受納した。

(エ) エヴィクサー株式会社

- a 期間 令和4年12月～令和5年2月
- b 内容 送迎用バスの児童置き去り防止に向け、デジタル技術を活用することで園児の安全安心の確保に加え、リアルタイムに確認通知メールが園や保護者に届き、デジタルログを残すことで点検+報告をワンストップで行い、保育園側の負担軽減を図る実証実験を行った。

ウ 兵庫県

県市協働のまちづくりに向けて様々な事業に取り組んだ。

(ア) ひょうご TECH イノベーションプロジェクト

- a 期間 令和4年8月～令和5年3月
- b テーマ 聴覚障がい者のコミュニケーション支援
～誰一人取り残したくない！コロナ禍で以前よりコミュニケーションが難しくなった難聴者を支援したい！～
- c 内容 兵庫県が実施した県内事業者が有する情報通信技術や工業技術などを活用して地域課題の解決に取り組む事業の一環として、障害福祉課が抱えていたコロナ禍でのマスク着用という新たな生活様式の影響で聴覚障がいのある方とのコミュニケーションが難しくなったという課題解決に向けて障害福祉課のサポートを行った。

(イ) おてつたび

- a 時期 令和4年10月15日～令和4年10月22日
- b 内容 兵庫県が多自然地域で実施した関係人口活用モデル事業の一環として、お手伝い（アルバイト）と旅をマッチングした新しい旅のかたちを提案する「おてつたび」と連携し、参加者が市内の「ながしお農園」に7泊8日で滞在し、アルバイトやボランティア、旅などを通じて多様な地域との関わり方を発見し、新たな関係を築くきっかけづくりの実証事業を行った。

(ウ) スマートシティモデル地区

- a 時期 令和4年8月～令和5年3月
- b 内容 兵庫県が地域特性に応じた課題に対して、民間事業者や大学等との共創を視野に ICT・データによって意欲的に課題解決に取り組む市町をモデル地区に選定するスマートシティモデル地区に三木市が選定された。

エ 株式会社アシックス

令和3年10月に連携協定を締結し、スポーツを軸とした先進のデジタル技術やデータの活用により、市民の健康増進や市民サービスの向上につながる取組を推進した。

(ア) LITE DX を活用した子どもたちの交通事故ゼロをめざす安全安心なまちづくり事業

- a 時期 令和4年10月～
- b 内容 国が進めるデジタル田園都市国家構想に係る取組として、子どもたちにセンサー内蔵シューズを履いてもらい、交通量が多い交差点等に子どもたちが近づくと、その交差点等に設置するスピーカーから音声流れ、児童や自転車及び自動車等へ注意を促すことで交通事故の発生を減らす実証実験を行った。

オ 明治安田生命保険相互会社

令和3年9月に連携協定を締結し、特定健康診査の受診率向上や、市民の健康増進や市民サービスの向上につながる取組を推進した。

(ア) 町ぐるみ検診の啓発

- a 期間 令和3年10月～
- b 内容 三木支店において、町ぐるみ検診の啓発チラシを配布し、啓発活動を行った。

(イ) 「私の地元応援基金」寄附

- a 金額 411千円
- b 内容 連携協定による取組の一環として、明治安田生命保険相互会社が実施する「私の地元応援基金」によって、介護・認知症対策の支援として411千円の寄附を受納した。

カ サントリーホールディングス株式会社

令和4年3月に派遣協定を締結し、2025大阪・関西万博を見据え、専門的知識や経験を有する民間人材を受け入れることで、外部の視点を取り入れ、地方創生の推進をより一層強化した。

(ア) 出向社員の受け入れ

- a 期間 令和4年4月～令和6年3月
- b 内容 大阪での「水の都大阪」の魅力を発信するコンソーシアムプロデューサーやインバウンド旅行者をターゲットとした商品造成の経験を有する社員の派遣を受け、国及び県や民間事業者との連携事業に加えて、市職員の育成等に取組んだ。

キ 三木市ゴルフツーリズム連携支援計画の推進

三木市を中心とした産・官・学・金の各界から6つの支援機関が連携し、地域資源であるゴルフを核としたインバウンドゴルフツーリズムを推進するとともに、ゴルフ産業の担い手育成や先端技術を活用して生産性向上に取り組む事業を支援するための計画を策定し、令和2年6月28日に経済産業省から認定を受け、体験コンテンツ造成及び仕組みづくりを進めた。

ク 近畿経済産業局

2025年に開催される大阪・関西万国博覧会を見据え、市における地域特性を生かした持続的な活力あるまちづくりを実現するため、令和4年3月に近畿経済産業局と連携協定を締結した。

また、令和2年10月に近畿経済産業局地域ブランド展開支援室が進める地域ブランドエコシステム構想に係る10のモデル地域（令和3年度12地域に拡大）に選定されたため、前年度に引き続き、専門家によるブランド会議を行い、現状分析、課題抽出に加え、事業化に向けた検討や田植え、稲刈りに係る動画撮影に加え、稲の育成状況を定点撮影した。その他、他地域や民間事業者、金融機関が集い、意見交換を行う地域ブランドネットワークサロン会議に参画し、新たなネットワーク構築に努めた。

(ア) 在京都フランス総領事館と連携した特別版マルシェの参加

- a 開催日 令和4年9月25日
- b 内容 近畿経済産業局に選定されている12の地域ブランドが一堂に会し、在京都フランス総領事館でのマルシェに参加した。

(イ) 近畿経済産業局主催地域ブランドネットワークサロン会議

- a 第5回地域ブランドネットワークサロン会議
 - (a) 開催日 令和4年11月4日
 - (b) 内容 地域ブランド製造現場見学、事業者講演
- b 第6回地域ブランドネットワークサロン会議
 - (a) 開催日 令和5年3月3日
 - (b) 内容 事業者講演、各市取組事例紹介

(ウ) 近畿経済産業局×九州経済産業局広域連携ブランド企画

九州経済産業局から全国の産業局に対し、鹿児島県指宿市水産加工業協同組合から鯉節

を削る金物を探しているとの依頼を受け、地域ブランドエコシステム構築に向け連携する近畿経済産業局からの紹介により、三木金物鉋によるコラボ商品開発を行った。

- a 内閣府地方創生政策アイデアコンテストにおいて近畿経済産業局長賞を受賞した。
- b 内閣府沖縄総合事務所ブランド創出事業において講義を行った。
- c 日本初の地域団体商標同士の広域コラボ商品ということで、様々な国の資料等で紹介された。

(エ) 近畿経済産業局への市職員の派遣

- a 期間 令和4年4月～令和6年3月
- b 内容 2025大阪・関西万博を見据え、近畿経済産業局に市職員を派遣することで、国の各種制度やノウハウの吸収及び人的なネットワークを構築して、今後の持続的な施策推進に向けた環境づくりを行った。

(オ) 市職員を対象とした RESAS を活用した政策立案研修

- a 開催日 令和4年5月11日・令和4年5月18日
- b 内容 協定事項である「地方創生のより一層の推進に係る啓発並びに人材育成につながる支援」を実現するため、産業構造や人口動態、人の流れなど、国のオープンデータを集約し、可視化するシステムである「RESAS（地域経済分析システム）」に係る市職員向けの研修会を開催した。

ケ TOA 株式会社

地方創生の更なる推進に向け、音響を軸とした先進デジタル技術の活用による DX（デジタルトランスフォーメーション）により、市民の健康増進や市民サービスの向上につながる取組を推進した。

(ア) LITE DX を活用した子どもたちの交通事故ゼロをめざす安全安心なまちづくり事業

- a 期間 令和4年10月～
- b 内容 国が進めるデジタル田園都市国家構想に係る取組として、子どもたちにセンサー内蔵シューズを履いてもらい、交通量が多い交差点等に子どもたちが近づくと、そこに設置するスピーカーから音声の流れ、児童や自転車及び自動車等へ注意を促すことで交通事故の発生を減らす実証実験を行った。

コ 一般社団法人 ALIVE

(ア) ALIVE プロジェクト

- a 期間 令和4年10月～12月
- b 内容 社会課題解決に向けた日本最大級の異業種混合型リーダーシップ育成プロジェクト「ALIVE プロジェクト」に三木市が答申先として参加した。異業種の次世代リーダー又はリーダー候補である参加者が、全4回（約3カ月間）のセッションを通じて、三木市への政策提案を行った。

サ 日本オラクル株式会社

(ア) スマートシティの推進に係る連携協定締結

- a 期間 令和5年2月～
- b 内容 Society 5.0を見据え、デジタル技術を活用して人々にとって住みよい環境を実現する都市「スマートシティ」を推進し、より一層の地域社会の発展と市民サービスの向上を図ること目的に連携協定を締結した。

シ 株式会社香味発酵

企業版ふるさと納税の寄附金額を上限として、先端技術を有する事業者の本社機能誘致及び地方創生につながる地域課題解決に係る費用を補助する事業において、世界初の『匂いをデータ化』して再現する独自の技術を持つ株式会社香味発酵を認定し、連携して企業版ふるさと納税の募集することで企業版ふるさと納税を活用した当該誘致に係る補助事業を執行した。

(4) 三木若者ミーティングの開催

市の施策、事業などに若者の意見を取り入れ、三木市をさらに魅力のあるまちとするため、若者の意見を聴取するイベント「三木若者ミーティング」を、全2回にわたって対面形式で開催した。第1回目でテーマについて及びアイデア検討の際のポイントについての講演を経て、

第2回でグループワークを行い、市長及び担当課に対してアイデアの発表を行った。

- ア テーマ 広げようクールチョイス～若い世代へのPRについて～
- イ 参加校 関西国際大学、三木高等学校、三木東高等学校、三木北高等学校、吉川高等学校、神戸星城高等学校

ウ 開催概要

(ア) 第1回

- a 開催日 令和4年8月4日
- b 内容 オリエンテーション、担当課によるテーマについての概要説明及び近畿経済産業局によるデータ活用の動機付け及びアイデア検討の際のポイントについて講演
- c 参加人数 33人

(イ) 第2回

- a 開催日 令和4年8月24日
- b 内容 グループワーク及びアイデア発表
- c 参加人数 27人

(5) 企業版ふるさと納税に係る取組

令和2年8月21日に認定された地域再生計画「三木市まち・ひと・しごと創生推進事業」に記載されている事業に対する、市外企業からの寄附を募った。

- ア 寄附件数 7件
- イ 寄附額 30,300千円
- ウ 事業者名 株式会社ウォーターエージェンシー、その他6件(非公表)
- エ 寄附目的 スマート自治体推進事業、循環型社会創造事業、ゴルフ振興事業、地域課題解決に向けた先端技術を有する事業者誘致事業

2 インバウンド戦略の推進

訪日外国人の増加に伴い、国では、訪日外国人観光客を令和2年時点で4,000万人、令和12年時点で6,000万人を目標とするなど、観光先進国を目指していた。しかし、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた戦略に方針転換を行った。三木市においても、西日本一の数を誇るゴルフ場や金物に代表されるモノづくりの文化をはじめとした、地域資源を体験するコンテンツ造成による受入体制の構築を、公民連携により実施した。

(1) ひょうご観光本部との連携事業

ア 訪日外国人の誘客に向けた取組

アフターコロナを見据え、ひょうご観光本部、兵庫県北播磨県民局と連携し、体験コンテンツ造成事業を実施した。また、2025大阪・関西万国博覧会や2027WMG関西を見据えた、オンラインファミトリップ用の動画をひょうご観光本部と連携し、制作した。

イ AGTC 商談会出展 (アジアゴルフツーリズムコンベンション)

- (ア) 開催日 令和5年3月14日～16日
- (イ) 内容 海外旅行事業者との商談会 18か国33事業者と商談を実施

ウ モニターツアー

- (ア) 開催日 令和4年10月25日
- (イ) 内容 山田錦テロワールツーリズム (稲刈り体験、試飲等)

(2) 内閣官房万博国際交流プログラム調査事業

内閣官房国際博覧会推進本部事務局が進める2025年大阪・関西万国を契機に、全国の各地域と万博参加国との交流を促進するための調査事業である万博国際交流プログラムの調査対象として選定され、在京都フランス領事館と連携してフランスと交流した。

ア 吉川中学校での交流会

- (ア) 開催日 令和5年2月20日
- (イ) 内容 吉川中学校でイルマン在京都フランス総領事によるフランスの今を知る講

演に加え、中学生との意見交換を行う交流会である『びっくりフランス』を実施した。

イ 三木高等学校国際総合科1・2年生フランス語講座

(ア) 開催日 令和5年3月7日

(イ) 内容 アンスティチュ・フランセ関西からフランス人講師を招き、三木高等学校国際総合科1・2年生を対象とするフランス語講義を行った。

ウ フランス×山田錦まつり体験及び金物工房見学体験

(ア) 開催日 令和5年3月11日

(イ) 内容 在京都フランス総領事館等を通じて募集したフランス人家族などを市内の金物事業者や山田錦まつりに招待し、地域資源等に触れていただくことで、三木市のPRを行った。

エ 在京都フランス領事館でのル・マルシェで地域資源をPR

(ア) 開催日 令和5年3月19日

(イ) 内容 在京都フランス総領事館内アンスティチュ・フランセ関西ガーデンでのル・マルシェで、市内事業者が参加して三木市のモノづくり文化を発信するとともに、別所ともえ太鼓の演奏などを通じた文化交流を行った。

3 みきで愛（出会い）サポートセンター事業

少子化の主な要因の一つである「晩婚化」への対策として、結婚を希望する男女に出会いの場を提供する事業を「みきで愛（出会い）サポートセンター」に委託して実施した。

当センターの出会いサポート部会では、出会いサポーターが仲人役となり見合いを実施し、成婚へと導いた。

(1) サポートセンター実績

ア 理事会等

日時・場所	内 容 等	出席人数（人）
令和4年6月7日 19:00～21:00 市役所特別会議室	第1回 理事会 1 協議事項 (1) 令和3年度事業実績報告について (2) 令和3年度収支決算報告について (3) 令和4年度事業計画（案）について (4) 令和4年度収支予算（案）について	理事 7 事務局 4 合計 11

イ サポートセンター登録者数（令和5年3月31日現在）

（単位：人）

	20代	30代	40代	50代	合計
男性	1	46	46	17	110
女性	7	46	25	9	87
合計	8	92	71	26	197

ウ 成婚カップル数 4組（通算 139組）

エ メールマガジン登録状況（令和5年3月31日現在）

（単位：人）

出生年代	登録数	性別	
		男性	女性
1990年代	60	24	36
1980年代	339	133	206
1970年代	198	105	93
1960年代	49	38	11
1950年代	6	5	1
合計	652	305	347

オ 広報啓発

(7) 事業イベント案内

広報みき、エフエムみっきい、県サポートセンター、神戸新聞等

(イ) センター独自ホームページ、チラシ掲示（公民館等の公共施設等）

(ロ) マスコミ取材対応等

(2) 出会いサポート部会

ア 出会いサポーター登録状況（令和5年3月31日現在）

（男女別）

性別	人数 (人)	率 (%)
男性	8	34.8
女性	15	65.2
計	23	100.0

（年代別）

年代	人数 (人)	率 (%)
40代	1	4.3
50代	0	0.0
60代	4	17.4
70代	14	60.9
80代	4	17.4
計	23	100.0

イ 出会いサポーターによる出会いの導きで結婚成立 4組（通算126組）

ウ 出会いサポーター活動状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

No.	内 容	件数（件）
1	出会いサポートセンター事業のPRを行った件数	1,052
2	現在、相談を受けている件数（R5.3月末時点）	709
3	相談者の見合う相手を探した件数	726
4	相手を見つけ紹介した件数	479
5	両者を引き合わせた（お見合いを設定した）件数	359

※出会いサポーターからの報告に基づく件数

エ 情報交換会 ※毎月第4金曜日開催

日時・場所	主な協議内容	出席人数（人）
令和4年4月22日 13:30～16:00 教育センター 大研修室	第1回 1 協議事項 (1) 令和4年度イベントについて 2 情報交換	サポーター 20 事務局 4 合計 24
令和4年5月27日 13:30～16:00 教育センター 大研修室	第2回 1 協議事項 (1) 縁結びひろばの開催（7/24）について (2) 新規相談者のサポーター割振ルールについて 2 情報交換	サポーター 19 事務局 3 合計 22
令和4年6月24日 13:30～16:00 教育センター 大研修室	第3回 1 協議事項 (1) 縁結びひろば（7/24）の開催について 2 情報交換	サポーター 19 事務局 3 合計 22
令和4年7月22日 13:30～16:00 市役所中会議室	第4回 1 協議事項 (1) 縁結びひろば（7/24）の開催について 2 情報交換	サポーター 18 事務局 3 合計 21

令和4年8月26日 13:30～16:00 市役所中会議室	第5回 1 協議事項 (1) 人権研修の開催(9/30)について 2 情報交換	サポーター 17 事務局 3 合計 20
令和4年9月30日 13:30～16:00 市役所大会議室	第6回 1 協議事項 (1) 人権研修 (2) 次回縁結びひろば(12/18)の開催について 2 情報交換	サポーター 21 事務局 3 合計 24
令和4年10月21日 13:30～16:00 教育センター 大研修室	第7回 1 協議事項 (1) 縁結びひろば(12/18)の開催について (2) ひょうご出会いサポートセンターの今後の予定について 2 情報交換	サポーター 18 事務局 3 合計 21
令和4年11月25日 13:30～16:00 市役所中会議室	第8回 1 協議事項 (1) 縁結びひろば(12/18)の開催について 2 情報交換	サポーター 21 事務局 3 合計 24
令和4年12月16日 13:30～16:00 教育センター 大研修室	第9回 1 協議事項 (1) みきハートのパーティ(2/11)について (2) 新年会について 2 情報交換	サポーター 19 事務局 3 合計 22
令和5年2月24日 13:30～16:00 市役所特別会議室	第10回 1 協議事項 (1) 15周年について (2) イベントの方向性について 2 情報交換	サポーター 18 事務局 3 合計 21
令和5年3月24日 13:30～16:00 教育センター 大研修室	第11回 1 協議事項 (1) サポーター15周年について (2) 周知ポスターについて 2 情報交換	サポーター 17 事務局 3 合計 20

オ 相談者(結婚希望者)受付件数

(単位:件)

区分	男性	女性	合計
サポートセンター受付	16	6	22
出会いサポーター受付	16	16	32
合計	32	22	54

カ サポーター企画(登録者を対象としたお見合いイベント)(合計1回)

日時・場所	内 容 等
令和4年7月24日 13:30～16:00 三木南交流センター 体育館	「みき縁結びひろば」 1 内 容 回転お見合いやフリータイムを実施 2 参加予定者 男性33人 女性13人 3 カップル成立 7組

キ 赤い糸プロジェクト

相談者自らが名簿を閲覧し、気になる相手にお見合いを申し込む。

(ア) 開設日時 毎月第2日曜日 13:00～16:00
平日 9:00～16:00

- (イ) 開 設 場 所 三木市立市民活動センター2階（毎月第2日曜日）
三木市役所縁結び課内（平日）※要予約

(ウ) 名簿閲覧受付状況 (単位：人)

区分	男性	女性	合計
第2日曜日受付	35	17	52
平日受付	7	6	13
合計	42	23	65

- (3) 出会い交流（みきハート）部会 （三木商工会議所青年部等で組織する）

- ア みきハート会員数 8人
イ みきハートによる出会いの場の創出での結婚成立 0組（通算13組）
ウ みきハート部会 1回開催（令和5年2月11日）
エ みきハート主催お見合いパーティー等（合計1回）

日時・場所	内 容 等
令和5年2月11日 14:00～16:30 ながしお農場	いちご一会お見合いパーティー 1 参加者 男性17人 女性17人 2 カップル成立 5組

- (4) 当センターに登録した、みきで（出会い）愛婚活応援団が主催する婚活イベントをPR

- ア みきで愛婚活応援団登録数 8団体（令和5年3月31日現在）
イ みきで愛婚活応援団主催お見合いパーティー等（合計15回）

日時・場所	内 容 等
令和4年5月15日 13:00～16:00 三木南交流センター 体育館	30代40代限定 恋するおとなの婚活パーティー 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性29人 女性29人 3 カップル成立 11組
令和4年5月22日 13:00～15:30 三木南交流センター 体育館	30代・40代限定 三木で婚活 1 主催者 fieldmeet24 2 参加者 男性11人 女性5人 3 カップル成立 2組
令和4年6月19日 13:00～16:00 三木南交流センター 体育館	40代50代と離婚経験者&理解者限定 恋するおとなの婚活パーティー 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性30人 女性29人 3 カップル成立 17組
令和4年7月3日 13:30～16:00 三木南交流センター 体育館	30代・40代限定 三木で婚活 1 主催者 fieldmeet24 2 参加者 男性10人 女性6人 3 カップル成立 0組
令和4年8月7日 13:00～16:00 三木南交流センター 体育館	30代40代限定 恋するおとなの婚活パーティー 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性29人 女性28人 3 カップル成立 19組
令和4年8月28日 13:30～16:00 三木南交流センター 体育館	ゆかたで婚活 in 三木 1 主催者 fieldmeet24 2 参加者 男性10人 女性9人 3 カップル成立 3組
令和4年9月25日 13:00～16:00 三木南交流センター 体育館	40代50代限定 恋するおとなの婚活パーティー 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性29人 女性29人 3 カップル成立 15組

令和4年11月6日 13:00~16:00 市民活動センター 大会議室	28~39歳限定 恋するおとなの恋活パーティー 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性24人 女性24人 3 カップル成立 14組
令和4年12月18日 14:00~17:00 森林公園 デルパパ	40代~60代限定 恋するおとなのXmas恋活パーティー 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性42人 女性39人 3 カップル成立 20組
令和5年1月22日 19:00~20:20 オンライン	25~39歳限定 オンライン婚活 1 主催者 fieldmeet24 2 参加者 男性4人 女性2人 3 カップル成立 2組
令和5年1月29日 14:00~17:00 森林公園 デルパパ	30歳~45歳限定 恋するおとなの恋活パーティー 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性24人 女性22人 3 カップル成立 12組
令和5年2月8日 20:00~21:20 オンライン	25~39歳限定 オンライン婚活 1 主催者 fieldmeet24 2 参加者 男性3人 女性2人 3 カップル成立 0組
令和5年2月26日 13:00~16:00 三木南交流センター 体育館	40代50代離婚経験者限定 恋するおとなの恋活パーティー 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性17人 女性16人 3 カップル成立 7組
令和5年3月26日 13:00~16:00 市民活動センター 大会議室	40代限定 恋するおとなの恋活パーティー 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性19人 女性18人 3 カップル成立 7組
令和5年3月26日 20:30~22:00 オンライン	25~39歳限定 オンライン婚活 1 主催者 fieldmeet24 2 参加者 男性3人 女性2人 3 カップル成立 0組

4 定住促進事業

新たに市内に住宅を建築(取得)する際に課税される固定資産税と都市計画税の一部(土地は対象外)を助成し、若者世帯の転出を抑制するとともに、市内での定住を促進した。

地区別集計表

地区名	件数 (件)	交付決定金額(円)
三木	58	4,670,000
三木南	4	267,000
別所	8	541,000
志染	1	55,000
細川	0	0
口吉川	1	65,000
緑が丘	45	3,744,000
自由が丘	33	2,595,000
青山	13	1,091,000
吉川	1	54,000
合計	164	13,082,000

5 結婚新生活支援事業

若者が婚姻に伴い必要となる新生活に要する費用（物件取得費、家賃、引っ越し費用等）の一部を支援することで、市内への定住及び転入を促進した。

- (1) 件数 49 件
- (2) 金額 10,460,000 円

6 移住・定住促進事業

市外からの若年世帯の転入を促進し、市内人口の減少及び、少子高齢化の抑制を図る。

(1) 移住イベントへの参加

日時・場所	内 容 等	
令和4年5月21日 10:00~15:00 大阪ふるさと暮らし 情報センター	1 主 催 2 イベント名 3 来 場 数	兵庫県カムバックひょうごセンター 移住相談会 2 組
令和4年8月20日 11:00-16:00 CIVI 研修センター 新大阪東	1 主 催 2 イベント名 3 来 場 数	兵庫県カムバックひょうごセンター及び 播磨地域各県民局 兵庫県播磨地域合同移住相談会 15 組、うち当市への個別相談 4 組
令和5年1月22日 13:30-15:30 オンライン	1 主 催 2 イベント名 3 相 談 数	兵庫県北播磨県民局 先輩移住者とのオンライン交流会 5 組
令和5年1月29日 11:00-16:00 AP 大阪淀屋橋	1 主 催 2 イベント名 3 来 場 数	兵庫県カムバックひょうごセンター及び 播磨地域各県民局 兵庫県播磨地域合同移住相談会 12 組、うち当市への個別相談 2 組

7 ふるさと納税

ふるさと納税を推進し収入の確保を図るとともに、寄附者へお礼の品として特産品等を贈呈することで、三木の魅力を全国に PR した。

令和4年度は、4 ポータルサイトを導入し、合計 12 サイトを活用した。第一生命と連携している「ふるさとプレミアム」、マイナビニュースに掲載される「マイナビふるさと納税」に加え、「ふるさとチョイス」による連携サイト（管理の手間が必要ない形式）として「au Pay ふるさと納税」「セゾンのふるさと納税」である。

受領した寄附金は、「こころのふるさと三木応援基金」に積み立てた。

(1) 寄附件数及び金額

- ア 件数 22,398 件
- イ 金額 938,253,580 円

(2) 返礼品（直営サイト分）

- ア 協賛事業者数 159 社
- イ 返 礼 品 数 747 品目

(3) 三木市ふるさと納税返礼品開発支援事業

魅力ある返礼品のさらなる開発を促進し、ふるさと納税の寄附額のアップをめざすため、新たな資金調達方法である「ふるさと納税型クラウドファンディング」を活用し、事業者の返礼品開発を支援した。

- ア 申請者数 5 社
- イ 寄附金募集結果

プロジェクト名	事業者名	寄附金額
アップサイクル商品「soramame」のバリエーション増やしたい！三木市の不揃いトマトを使った新商品開発	おうちごはん cafe そらまめ	330,000 円
三木市特産の山田錦を使った米粉麺で地域活性化！	和～なごみ～	112,000 円
三木市でトマト農家を始めたい！美味しいトマトで皆を笑顔に、農家を元気に	grow farm	260,000 円
山田錦を使った新ビールを作りたい！極上の酒米が穫れる認定地区「特 A 地区の三木市産山田錦」をもっと広めるために	なごみふいーど	735,580 円
新たにオープンするカフェで提供する地産地消の新商品を開発したい！地元農家と連携した「こだわりの食」づくり	㈱小西商店	400,000 円

8 空き家バンク事業

官民連携による市内の空き家情報をはじめ、市の制度や取組、移住者の声などを情報発信し、空き家を登録する方と探す方のマッチングを円滑・迅速化した。

(1) 登録物件数

ア 新規登録物件数	47 件
イ 累計登録物件数	132 件